

第5回 クリスマスパーティー in 糠南 開催

～ 冬の風物詩となりつつある「糠南クリパ」過去最高80名が参加 ～

問寒別地区にある秘境駅「糠南駅」で令和元年12月22日に行われたクリスマスパーティーは、今回で5回目を迎えました。通称「糠南クリパ」と呼ばれるこのイベントは、経営難のJR北海道による無人駅廃止方針に危機感を抱いた栃木県の男性が、幌延町が取り組んでいる秘境駅などの鉄道系資産によるまちおこしを応援するため、平成27年に始めたものです。当初の参加は12名でしたが、翌年以降、参加者が増えていき、今回は80名が参加。JR宗谷本線の鉄道利用を促進している町も、主催者の協力依頼を受け、共催しています。

幌延駅のホームに60名の列

イベント当日、早朝の幌延駅には稚内発の普通列車に乗って糠南駅に向かう参加者約60名が列を作りました。列車は定刻通り糠南駅に到着。すでに待っていた参加者を合わせ、総勢80名の糠南クリパが始まりました。

住民の温かいおもてなしに満足

参加者は待合所になっているヨド物置を秘境駅キャラクター「ぬかにゃん」に装飾したり、ケーキを用意するなど思い思いに過ごしました。また今回も、駅の近くに住む住民有志から暖かい豚汁の差し入れをいただき、参加者は凍えた体を温めました。

最後は恒例となっている記念撮影を行った後、全員で鉄道ソングを熱唱。3時間に及ぶ真冬の秘境駅イベントは、参加者が次回の再会を約束し合いながら、幕を閉じました。

鉄道利用、宿泊・飲食の経済効果も

参加者の7割は道外在住者で、沖縄から来た人もいました。このうち学生は約20名おり、関東からは高校生3人組が、旭川からは中学3年生が一人で訪れました。

糠南駅までの鉄道利用者は9割で、JR宗谷本線の利用促進が図れました。また、イベント前日に町内飲食店で開かれた前夜祭には67名が参加。2次会も開かれ、多くの人が町内の宿泊施設を利用しました。

参加者は年々増え、糠南クリパが町内に与える経済効果は上がっています。鉄道系資産を活用したまちおこしの一環として、このイベントがこれからも続いていくことを願っています。

イベント詳細は町HPに掲載

http://www.town.horonobe.hokkaido.jp/www_4/section/kikakuseisaku/le009f000001hvb7.html

お問い合わせ先：企画政策課 企画政策グループ 電話5-1114 告知端末機5-8814



糠南クリパを満喫し、家路につく参加者。糠南駅ホームに長蛇の列ができた



67人が参加した前夜祭



参加者であふれる早朝の幌延駅



装飾された待合所



住民提供の豚汁に舌鼓を打つ



工夫を凝らしたケーキも用意された



住民から薪ストーブの差し入れも

